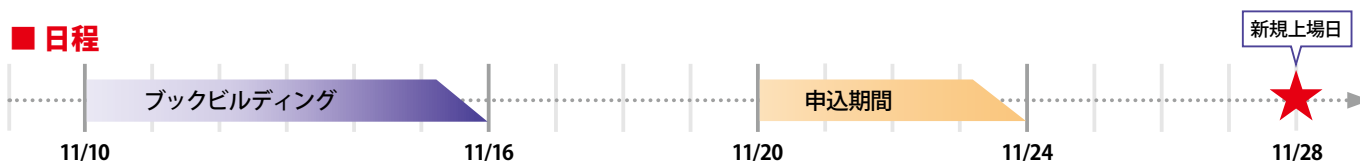


IPO銘柄 クックビズ (6558・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6558	100株	公募: 30.00万株 売出: 12.28万株 (OA6.34万株)	2,070円~2,250円 (24.0倍)	大和証券

■ 日程



飲食店の求人・転職サイト「cook+biz」を運営

■ 事業内容

飲食店、ホテル、旅館、中食事業者、給食事業者、ブライダル事業者など飲食業界に特化して、人材紹介事業、求人広告事業、その他事業を展開する。飲食業界に特化した求人情報サイト「cook+biz」の運営が主力で、人材紹介事業では同サイトを通じ、コンサルタントが有料職業紹介を行う。管理職、幹部採用向け人材紹介サービス「FOOGENT」、人材データベースを用いたスカウトサービス「クックビズダイレクト」も手掛ける。求人広告事業では、人材採用を希望する求人企業の求人広告を「cook+biz」に掲載。その他事業では、飲食業界向け人材定着・育成に関連する研修サービス「クックビズフードカレッジ」、料理人やシェフを中心としたSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）「Foodion」を展開する。17年11月期3Q実績の売上高構成比は人材紹介事業が65.7%、求人広告事業が33.5%、その他事業が0.8%となっている。

■ 特徴

飲食業界に特化していることで、同業界の業務、特性、人材ニーズ、職種ごとに必要とされる経験やスキルのほか、求職者の求職条件、キャリアプランにも精通している点が強み。求人企業、求職者の双方が求めるきめ細かいニーズをくみ取ったサービスを構築し、マッチングの向上、業務の迅速化を図っている。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年11月期の非連結経常利益は前期比3.5倍の2億6,500万円を計画する。飲食業界の人手不足は深刻で企業の採用ニーズが高まっており、事業環境は良好。コンサルタント、営業人員の教育強化、人員の適正配置などを行い、生産性の向上を図っていく。

■ 定性分析

人材系サービスはIPOマーケットで特段人気のある業態ではないが、飲食業界は人手不足が社会問題化しており、注目度が高い。また、既上場企業でも人材系企業の業績好調、株価の上昇が目立っており、時流に乗ったビジネスを展開する案件と位置付けられそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は11億円程度。人気種類のIPOとしては軽量感があり、参戦妙味が大きそうだ。ベンチャーキャピタル保有株はあるものの、ロックアップ条項が付されているため、すぐには市場に流出しない構図となっている。(小泉健太)

■ 類似企業

クックビズ(6558・マザーズ)	予想PER24.0倍 (仮条件上限)
エス・エム・エス (2175・東証1部)	予想PER43.4倍
クイック (4318・東証1部)	予想PER20.8倍

■ 引受証券

大和証券、野村証券、SMBC 日興証券、SBI証券、エース証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年11月期(実績)	692	2.0倍	63	黒転	59	黒転	33.0	—
16年11月期(実績)	1,232	78.1	75	19.1	51	▲12.8	28.8	—
17年11月期(会社予想)	2,065	67.6	265	3.5倍	169	3.3倍	93.7	—

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年11月期	1,802,941	379	91	56	50.8	24.1	96.4
16年11月期	1,802,941	451	143	56	79.6	31.7	44.2

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	藪ノ 賢次	1,100,000	55.58
2	ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	300,000	15.16
3	藪ノ 郁子	276,000	13.95
4	SMBCベンチャーキャピタル1号投資 事業有限責任組合	102,941	5.20
5	生田 亮人	78,000	3.94
6	岡本 哲郎	62,000	3.13
7	齋藤 理	14,400	0.73
8	クックビズ従業員持株会	10,000	0.51
9	久田 雅士	2,750	0.14
10	三輪 智之	2,380	0.12

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長CEO	藪ノ 賢次
取締役COO(事業統括部門長)	生田 亮人
取締役CFO(経営管理部門長)	岡本 哲郎
取締役	吉崎 浩一郎
常勤監査役	秋山 裕治
監査役	嶋内 秀之
監査役	福本 洋一

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。